



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2015年7月1日発行 NO. 24

社会福祉法人 ふきのとう TEL 0743-67-1099

天理市柳本町 2036 番地 1 HP <http://www.fukinotou.or.jp>

e-mail fukinotou1099@rondo.ocn.ne.jp 編集責任者 樋川統一

人は何のために生きるか

理事 森川 政利

「光陰矢の如し」とはよく言ったものです。月日の移ろいは本当に早いものですネ。

「人は何のために生きるのか！」よく聞く言葉ですが、私はこんな哲学的な言葉を日常生活の「指針」として、今日まで過ごしていたかと、問われればただ

ただ赤面の至りです。

意識せずに漫然とその日その日を過していると、気がつけば人生の黄昏ときに来ていることに気付かされます。今の私にはまさにそのような時期に差し掛かっている気がします。



この世に生を受けて70

年。いろんなことがありました。恥ずかしくて人に言えないことやちょっと自慢してもいいかな！と思うこともありました。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」の諺どおり、今ではすべて懐かしい思い出で、叶うことならもう一度その頃に戻ってみたい、と思うことは少なからずあります。

さて、私が社会福祉法人ふきのとうに関わるようになって早や7年が経過しました。

当初、松田理事長から請われて軽い気持ちで引き受けましたが、今はその責任の重さを痛感しています。



それにしても今日の日本は、あまりにも大きな格差社会ではないでしょうか。強者が弱者を踏みつけて成り立っているように思えてなりません。例えば貧富の差別、学力の差別、職業の差別、男女の差別そして障害者差別等々が身の回りに存在します。

近年「自己責任」という言葉をよく目にし、耳にしますが、これこそ強者の論理と言うべきでしょう。人は生まれた時の家庭状況や身体状況で、その人の一生の大

半が決定づけられてしまう。こんなことが許されて良いはずがありません。

憲法第14条は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的および社会的関係において差別されない。」と高らかに謳っていますが、現実はまだしもにもかけ離れています。



このような状況の中、社会福祉法人ふきのとうが目指す、メンバーさんの自立生活に向けた様々な支援活動は、人が人として真に尊重される社会を目指す大切な事業であると思います。

一方、障害者施設等の社会的評価はまだ低く、そこで働く人の待遇も崇高な仕事の割には十分とは言えません。国との関係で難しい面もありますが、ここを解決しなければ次の発展はないのではないのでしょうか。

最後に冒頭に戻って、「人は何のために生きるのか！」を考えました。

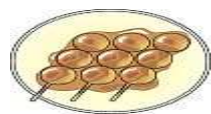
自身の名誉や栄達、金儲けのためでなく、社会の平和のため、人々が仲良く暮らせるため、人を愛し、人に寄り添い、お互い助け合うこと。これが必要との想いに至りました。

残りの人生でこれを実践出来たら、どんなにか素晴らしいことだろう。でも出来るかな？



働く障害者応援
「プレミアム商品券」

5月24日より奈良県下の（一部を除く）障害者施設では障害者の工賃向上と授産商品の消費拡大・認知度向上を目的に「働く障害者応援プレミアム商品券」を販売することになりました。



額面 500 円の商品券を半額の 250 円で購入することが出来、事業に参加する障害者施設で額面通りの金券として使用出来ます（お釣りは出ません）。

ふきのとうでも商品券を使用することが出来ますので、是非ご活用ください。もちろん商品券の販売も致しております。（商品券には数量に限りがあります。売り切れの際はご容赦いただきますようお願い致します。）

梅見に行ってきました！



まだ少し肌寒さが残る中、梅見に行ってきました。

バスの中では梅見を楽しみにしている話などで盛り上がりドキドキが止まりませんでした。

到着後はふきのとうから持参してきたおいしいお弁当を食べ、いよいよお待ちかねの梅見です！

歩きながら綺麗に咲いている梅を見ているうちに体もポカポカな気持ちになりました。メンバーさんの表情も気付けばさらに明るく笑顔になっていました。

帰りのバスでも楽しい気持ちは止まらず、ワイワイとお話をする方もいれば、すやすやと休まれている方もいて、皆さんそれぞれ梅見を満喫した様子でした。

こんなことをしています！



★フライングディスク大会

5月10日(日)に奈良県立高等養護学校のグラウンドでフライングディスク大会がありました。

天気はとてもよく、暑いくらいでした。



練習した成果が出た人、緊張であまり自分の力が出せなかった人もいましたが、金メダル4個銀メダル6個銅メダル7個を獲得しました。

初参加のメンバーは残念ながらメダルを獲得することが出来ませんでしたが、楽しく参加でき、笑顔も見ることが出来ました。

来年は今年より多くのメダルが獲れるよう期待しています。



新しいスタッフのご紹介

貝原 泰充さん



6月から働くこととなりました貝原です。出身は九州の大分で、23歳から関西に住んでいます。テニスとゴルフで体力を維持しています。



メンバーさんと一緒にいろんな活動を行っていますが、日々初めての経験で新鮮に感じ、私自身新しい力を頂いていることに感謝をしています。

早く仕事を理解して、障害者福祉サービスの今後の質的向上に少しでも寄与したいと思っています。

西淵 雪子さん



佐賀県出身、A型、おひつじ座、趣味は音楽を聴きながらのランニング、おしゃべりの多いソフトバレー、息子のサッカー観戦です。



子育てが大変な時がありましたが、そのおかげで障害者福祉に興味を持ち、この仕事をつづけてくることができました。ふきのとうに早く慣れ、いろいろ教えていただきながら、皆様のお役にたてるよう頑張ります。宜しくお願いします。



藤本 良作さん

5月からふきのとうで働かせて頂いている藤本です。趣味はこの世の中の不思議を知る事です。

福祉の仕事は初めてなので、不安な気持ちもありましたが、最初にメンバーの皆さんと出会った時、自分を飾らない姿に心が洗われ、私にも何か役に立てることが出来ると思いました。

早く皆さんの名前と個性を覚えて一緒に作業しながら、共に成長していけるよう努力していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

